

令和4年度 第2回尾張旭市廃棄物減量等推進審議会 会議録

1 開催日時

令和5年2月14日（火）

開会 午前10時00分

閉会 午前11時30分

2 開催場所

市役所南庁舎3階 講堂1・2

3 出席構成員

矢野昌彦、新田美得、佐藤庸子、松原ふき、伊藤紀子、白坂弘子、榊田英也、小林寛司、米今賢二、篠田すみ子、計10名

4 欠席構成員

谷口悦予

5 傍聴者数

0名

6 出席した事務局職員

環境課長：木戸雅浩、環境課長補佐：西尾元伸、環境課主事：飯田あゆみ

7 議題等

尾張旭市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定状況について

8 報告事項

(1) ペットボトルの水平リサイクルについて

(2) エコ☆チャレ アイデア募集状況について

## 9 会議の要旨

<p>事務局 (環境課長)</p>	<p>定刻になりましたので、ただ今から「令和4年度第2回 尾張旭市廃棄物減量等推進審議会」を開催させていただきます。</p> <p>本日は、ご多忙のところ、会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。本日は11名中、9人の方にご出席いただいております。まだいらしていない谷口さんについては、欠席の連絡は受けておりませんが、委員の半数以上の方にご出席いただいておりますので、本審議会条例第7条第2項により、本審議会は成立しております。なお、本会議は、市の「附属機関の会議の公開に関する基準」に基づき、傍聴を認めていること、また、本会議の内容については情報公開の対象となることも、あわせてご了承くださいますようお願いいたします。</p> <p>では、まず、会議資料の確認いたします。事前に資料1から7までお配りしております。</p> <p>&lt;資料の確認&gt;</p> <p>それでは、次第に沿って会議の進行をさせていただきます。まず、次第1「会長あいさつ」です。矢野先生、お願いします。</p>
<p>矢野会長</p>	<p>みなさん、お久しぶりでございます。本日は第2回ということで、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>前回、循環型経済サーキュラーエコノミーの話をしていただきましたが、廃棄物の減量というところで、廃棄物の再利用がすごく大事なテーマになってきております。ごみを減らすだけでなく、ごみを価値に変える、そういうのをサーキュラーエコノミーといいますの。</p> <p>今日は、基本計画についての策定状況についてのご説明ですが、市民の方だけではなく、産、学、官、我々学者が教えていく立場ではあるのですが、市もいろいろなところと連携して、モデル事業をやっていかないといけないです。</p> <p>産ということでは、今日出席のイトーヨーカドー様とかエコペーパーJP様とか、実際に事業をされている方とも連携していくのがすごく大事で、それをさらに進めると。</p> <p>連携から共創、共に作る方の共創なのですが、競い合うことではなくて、共に創ることがとても大事で、今日の最後の議題、エコチャレの話ですよね、1人1人が考えていく力、それをつないで共に創ることがすごく大事ではないかと思ひますので、この審議会を通して、いろいろなアイデアを、私も実はエコチャレを、すぐやらないといけないかなとやりました。</p> <p>今日はみなさん、アイデア応募用紙を1枚ずつ出していただくこ</p>

	<p>とが、最終的に目標にはなると思っています。基本的にはアイデア出しのところなどが、そういったところが共創につながって、それに共感する人が増えてくるのが重要だと思います。</p> <p>ご挨拶が長くなりましたが、減量をまずベースにしなが、基本的にそれを価値に変えていくような、そんなことができるようになると思いますので、みなさまぜひ、アイデアを出し合って、よりいい方向に進めたらと思います。それでは、よろしくお願ひします。</p>
事務局（環境課長）	<p>では、次第に従って議題に入ってまいります、ここからは会長の矢野先生に議事の進行をお願いいたします。</p>
矢野会長	<p>それではまずは、株式会社東和テクノロジー様より資料に基づいてご説明をいただくということによろしいでしょうか。資料1、2ですね。ではよろしくお願ひします。</p>
東和	<p>&lt;資料1、2について説明&gt;</p>
矢野会長	<p>ありがとうございます。しっかりと調査していただきありがとうございます。実態調査もありがとうございます。資料1、2についてご質問ありましたら委員の方からお願ひできればと思います。ご質問はいかがでしょうか。</p>
榊田委員	<p>非常に分かりやすい資料だと思います。資料1のごみ排出量が令和元年度に急に増えている理由の分析を進められているということですが、分析の結果がまとまった段階で、どうかたちで公開されるのか気になります。ぜひ教えてもらいたいです。</p>
矢野会長	<p>これは、分析される予定はあるのですか。</p>
東和	<p>はい。分析の結果はきちんと来年度の基本計画に掲載いたします。</p>
矢野会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
榊田委員	<p>ありがとうございます。</p>
矢野会長	<p>その他には</p>
篠田委員	<p>先日、ひまわり作業場に行ったのですが、トレイの分別を子どもたちがやっていました。作業所で、ヨーカドーのトレイを分別していると言われたのですが、そういうのは、行政は全然関係していないのですか。</p>
事務局（飯田主事）	<p>リサイクルひろばでプラスチック製容器包装とは別に集めている白色発泡スチロール・白色トレイは、ひまわり作業所に行っています。</p>
篠田委員	<p>すごくきれいで。ああいうのがいっぱいになればいいなと見ていました。</p>
矢野会長	<p>イトーヨーカドーさんを褒めたいですね。</p>
小林委員	<p>それは、お客様と売り場の努力です。</p>
矢野会長	<p>策定状況と基礎調査結果、資料1と2に関する事で何かありま</p>

	<p>したら、いかがでしょうか。</p> <p>目標の達成率はなかなか難しい。今度、どうなっていくかなというのも課題にはなってくるのかなと思います。コロナの影響もあって、今後どういう状況になっていくかというのも見据えながら、目標を設定していくのかなと思います。</p>
新田委員	<p>実態調査を通じて、まだ10%ほどですけど、資源として分別するものが可燃ごみを捨てられている、そこをどれだけ上げていくにかかっている。</p>
矢野会長	<p>そうかもしれません。</p>
新田委員	<p>総量を減らすのはかなり厳しいから。こういう状態ですから多少贅沢されても、みなさん、極限のところで生活されている。総量を減らすのはなかなか厳しい。先ほど言われた、ごみが何か変わる、価値を生み出し、価値を変えるということ。ごみ組成調査結果から紙類雑紙の分別意識を変えて、分別意識を上げる。それも10%程度であり、これも極限に近い。分別しても限界のような気がします。</p>
矢野会長	<p>みなさんが頑張っている様子が見えます。その他、ご意見ご質問等ございませんでしょうか。</p>
篠田委員	<p>先ほど言われた剪定枝がコロナのあたりから増えた。剪定枝を田んぼで燃やしてはいけないとすごく厳しくなった。それも原因で増えた。ちょっとした草まで燃やせないですよ、今。それまで出しているから、あれで増えたのではないかと思います。燃やしているとすぐ消防署がくるから。</p>
矢野会長	<p>その他、ありませんか。</p>
松原委員	<p>先ほど、分別に困っているもの書いてありましたが、スプレー缶とか。みなさん困っていることがわかりましたが、どうしたらいいとか、そういうことを知らせるものはないですか。広報、例えば、これはこういうふうにしたらいいのではないですかとか。</p>
事務局（飯田主事）	<p>ホームページとかアプリとか何かしらのフィードバックではないですが、していけたらなと思います。</p>
矢野会長	<p>おっしゃる通りです。それが困っているところですよ。その他よろしいでしょうか。</p> <p>それではご意見はないようですので、軌道修正を加えつつということはあるかもしれませんが、ご意見を踏まえつつ、予定通り基本計画の策定を進めていくということでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
矢野会長	<p>ありがとうございます。ご意見はないようですので、続きまして、資料3ですね、水平リサイクルに関する資料について、事務局から報告をお願いします。</p>

事務局（西尾課長補佐）	<p>事前にお配りした資料3，机の上に置かせていただいた新聞の記事をご覧ください。</p> <p>瀬戸市さんと長久手市さんと合同で、豊田通商、サントリーグループ、飲料メーカーとペットボトルの水平リサイクルに関する協定を締結いたしました。前の、市長さんがいらっしゃった、協定の締結式は1月30日に実施しています。これに基づいて4月以降は、市民の皆さんから回収したペットボトルを全量、すべて、中間処理業者、滋賀県日野町にある豊田通商の子会社、豊通ペットボトルリサイクルシステムズに持ち込まれます。ここから車で高速道路を使って1時間半から2時間の距離にあるところです。</p> <p>この工場では、ペットボトルを砕いて、不純物を取り除いて、いろいろな工程を経て、ペレットとして再資源化されます。その原料をもとに、サントリーに回って、サントリー製の飲料、ペットボトルが再生、販売されるという流れになっていきます。このボトルからボトルへという、国内で循環するシステム、これをペットボトルの水平リサイクルとっております。</p> <p>この水平リサイクルにはいろいろなメリットがあります。これまで食品トレイなどは繊維に再利用されることが多いですが、そうになると一回リサイクルしても次は燃やすとか、焼却処分になるという流れですが、この水平リサイクルであれば半永久的にリサイクルが可能であるということになります。これで、新たにペットボトルを製造する場合に比べると、CO<sub>2</sub>が60%削減されることになります。</p> <p>一番いいなと思っておりますのは、リサイクルが非常に分かりやすいということですね。ボトルからボトルになるということで、かつてはビール瓶とか一升瓶を返却して、洗って使うということをしていたのですが、今ですと、技術革新が進んで、物自体、ペットボトルをつぶして、バラバラになっても、またペットボトルとして再生される、こうしたリサイクルの流れが市民の方に知れ渡れば、みなさんの分別意識もさらに向上していくものと期待しています。</p> <p>こうした取り組みを通して、晴丘センターを運営している尾張東部の3市が足並みをそろえて循環型社会に向けて、脱炭素の実現していくことは、矢野会長のおっしゃったサーキュラーエコノミーにつながっていくだろうと思っております。</p> <p>ちなみに、みなさんのペットボトルの分別方法に変更はありません。これまで通り、キャップとラベルは外して、中は軽くすすいでいただいて、つぶして、拠点回収場所に持ち込んでいただきたいと思いますと思っております。よろしくお願ひします。報告は以上です。</p>
矢野会長	ありがとうございます。今、お話しいただいたことは、大きな意

	味ではサーキュラーエコノミーの製品から製品、この場合はボトルからボトル、というのを目標にして、水平リサイクルやリユースをやっていくというのがすごく大事になっているということをご紹介いただきました。皆様の方からご意見ご質問等、なんでもけっこうですから、言っていただければと思います。いかがですか。
伊藤委員	尾張旭市のペットボトルはすごくきれいだと聞きましたが、瀬戸市さんと長久手市さんはどの割合とかわかるのですか。そういうきれいなものを絶対だすという条件のもとにこの事業を実施するのですよね。
事務局（西尾課長補佐）	そうですね。今まで通りの出し方で。瀬戸市、長久手市、尾張旭市も、ランク付けされます。いろんなものが、危険物とかが入っていたりするとランクを下げられるのです。3市ともランクは高いです。
伊藤委員	きれいな物をペットボトルからペットボトルにするということですね。
事務局（西尾課長補佐）	そうですね。
矢野会長	市民教育も必要ですね。なるべくきれいにして出すという。
伊藤委員	キャップの部分、質問でも出ましたが、ラベルとキャップはごみの分別のところだと、ペットボトルはリサイクルひろばクルクル、ラベルとキャップはプラスチックごみに出さないといけなくて。 一時、中学校が集めたりとかして、エコキャップを集めてなんとか。スーパーとかでもキャップだけ別に集めてもっていったりしますよね。あれは結局、一緒になっているのですか。ヨーカドーさんとかスーパーさんとか。独自で中学校が集めて、車いすとかありましたよね。結局は一緒になっているのか、プラごみの中に入れていいのですか。
事務局（西尾課長補佐）	かつてはポリオクチンなどに使うという名目でキャップだけ回収していましたが、そこら辺がうまく流れてなくて、プラスチック製容器包装として処理しているということなのです。
伊藤委員	一生懸命やっているところが、少なくなってきたってことですかね。
事務局（西尾課長補佐）	そうですね。
矢野会長	その他、ご質問ご意見ございませんでしょうか。それでは続きまして、エコチャレアイデア募集状況について、事務局からご報告いたします。

事務局（飯田主事）	<資料4～7について説明>
矢野会長	<p>ありがとうございます。エコチャレ応募用紙、帰りに出してください。</p> <p>名古屋産業大学のPRですけど、今、言っていたように、11番トイストーリー運動に関して、今週打合せをするのですが、実際に保育園とか幼稚園とか、そういうところに実際に現場でやっているという方針決まっていますので、そういう意味では使わなくなったおもちゃをそのままはちょっと、少し直して、ちょっと価値を上げてやるのか、そういうこともできるので、まさにサーキュラーエコノミーの実験になるかもしれないなど。</p> <p>リユースももちろんしますが、使わなくなったものを直して使っていて、よろこんでいて、非常にいいアイデアがでて、実践に移そうという、まず行動から入っていくのはすごく大事だなと思うので、みなさんもぜひ、エコチャレアイデアの応募にご協力お願いします。</p> <p>まずは、エコチャレについてのご意見、ご質問はありませんか。やり方がわからないとか、二次元コードでもいけるし。紙に書いて出してもいいし。</p>
篠田委員	<p>前、リサイクルセンターがあった時は、おもちゃが出ていましたよね。ああいうことはもう市ではやらないのでしょうか。場所がねえ今。</p>
事務局（飯田主事）	<p>リサイクルひろばの整備があって、場所的な面でも民間が進んでいるという面でも、行政は手を引いたのですが、代替事業として、おもちゃ病院というのを年に2回やっています。そこで壊れたおもちゃを持ってきてもらって、基本的は無料で、一度持ち帰って、先生に修理してもらってまた使ってもらってという風な。</p>
篠田委員	<p>この時代に、エコセンターがあんなしょぼくれた場所でね、縮小していくのは本当に時代そぐわないですよ。そういうものやめないと。私たちがやっていたイベントもできないし。だから、場所を考えてもらわないと何もできない。</p>
矢野会長	<p>予算がかかるので、場所をね、もう少しいい場所でいろいろやっていくのもね。BOOKOFFなんかは完全商売にしていますからね。基本的には、BOOKOFFさんが仕入れて、アップサイクルといたしますが、ちょっと価値をつけて高く売る。おもちゃも含めてですが、商売でやっているところもあるので、連携してやるのかというのはあります。今は、おもちゃを修理して、ボランティアでやっていたいっているのですよね。で、今、有意義な場所で喜んでいただくという</p>

	<p>のも非常にいいことですが、そこで、非常に喜んでいただけることを水平展開していく上では、いろんな事業者さんと連携しながら、価値を上げて、それを場合によって売っていくということもあるのかなと。そうすると、サーキュラーエコノミーのごみを価値に変える、もともとその人にとってはごみだけど、違う人にとっては価値あるものとして買いたいというマーケットニーズにあってくるというのは経済的原理にもなるし、ごみが減っていく大きな要因になるかなという気がします。</p>
篠田委員	<p>このごみの活動で、私は市に出る古着の着物のリサイクルをずっとやっております、コロナでできなかったのが、この3月にやるのですが、みんな着物を捨てるのですよね、それを、またごみになるかもしれないけど、一時は、200kg、300kgがごみとして出ていきましたが、それがゼロになるのですよ。タダであげるから。だから、その、わたしたちみたいな高齢者が趣味でいろいろなものを作ったりして、またごみに出すかもしれないけれども、一時は、その200、300kg。ちょっとごみを減らしたとして。楽しみとして楽しんでもらって。</p>
矢野会長	<p>若い人でも着物好きな人いますし、いいデザインだと買っていかかもしれないし。デザインを少し変えるだけでも。</p>
篠田委員	<p>いらない人にはごみですけど。</p>
矢野会長	<p>そんなことはないです。価値に変える、です。</p>
矢野会長	<p>その他よろしいでしょうか。エコチャレは素晴らしいアイデアを思っておりますので、みなさまもぜひご協力お願いします。本日の意見を参考にして、今後また、ごみの減量施策をさらに進めるというふうでぜひお願いします。以上で議題は終了します。事務局から他何かありますでしょうか。なければ、だいたいこんなところで。</p>
事務局（環境課長）	<p>はい。貴重な意見をいただきましてありがとうございます。次期基本計画、またごみ減量施策に活かしていきたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>なお、本審議会の委員の皆さまの任期は2年となっております、みなさまの任期は6月末までとなっております。例年の開催状況からいきますと、今回が最後の会議になります。2年間ありがとうございました。ごみ処理基本計画につきましては2か年で策定しております、本年度また、来年度3月に策定予定でございます。会議でみえる方もいらっしゃると思いますが、今後とも協力をおねがいたいと思います。また、改選時、各団体の方につきましては、また、後任の方で、どうぞよろしくをお願いします。</p>
矢野会長	<p>それではこれをもちまして、令和4年度 第2回尾張旭市廃棄物</p>

減量等推進審議会を終了いたします。みなさん長時間お疲れさまでした。
-----------------------------------